

第30回建設業経理事務士検定試験

4級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 西松戸工務店は、現金¥500,000をもとに建設業を始めた。
- (2) 本社事務所で使用する文房具を購入し、その代金¥15,000を現金で支払った。
- (3) 工事用資材が現場に搬入され、その代金¥100,000を支払うため小切手を振り出した。
- (4) 現場事務所に借りた土地の賃借料¥20,000を現金で支払った。
- (5) 完成したため発注者に引き渡した工事の代金¥200,000が、引き渡しと同時に発注者から当座預金に振り込まれた。
- (6) 銀行からの借入金の返済に当たり、利息¥2,000を含む¥25,000が当座預金から引き落とされた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 受取利息	D 損益	E 資本金
F 事務用消耗品費	G 借入金	H 完成工事原価	J 完成工事高	K 支払利息
L 材料費	M 労務費	N 外注費	Q 経費	R 貸付金

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。（20点）

問1 次の文の の中に入る用語として適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。なお、同じ用語を2回以上使用してもよい。

- (1) 簿記上、現金勘定で処理されるものとしては、紙幣・硬貨といった通貨のほか、他人振出しの 1、 2 などがある。これらの通貨等を受け取ったときは現金勘定の 3 に記入し、通貨を支払ったときは、その 4 に記入する。これらの現金取引はその明細を明らかにするため、補助簿である 5 にも記入する。
- (2) 期末になると 6 を行い、 7 や 8 を作成する。 7 は 9 の記録にもとづいて、 8 は 10 を資料として、作成することができる。

〈用語群〉

ア 現金	イ 当座預金	ウ 小切手	エ 有価証券	オ 郵便為替証書
カ 合計残高試算表	キ 貸付金	ク 現金出納帳	コ 総勘定元帳	サ 貸借対照表
シ 記帳	ス 決算	セ 借方	ソ 貸方	タ 損益計算書
チ 損益勘定	ト 繰越試算表			

問2 勘定科目をA.資産、B.負債、C.資本（純資産）、D.収益、E.費用、F.工事原価の6つに分類した場合、次の勘定科目（ア～コ）はどれに属するか。記号（A～F）で解答しなさい。

ア 受取利息	イ 借入金	ウ 支払利息	エ 建物	オ 材料費
カ 備品	キ 外注費	ク 完成工事高	ケ 普通預金	コ 資本金

【第3問】 房総工務店の次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（平成×年1月31日）を完成しなさい。 (30点)

<資料1>

合計試算表

平成×年1月20日 (単位：円)

借方	勘定科目	貸方
256,000	現金	142,000
750,000	当座預金	505,000
82,000	備品	
190,000	土地	
230,000	借入金	405,000
	資本金	480,000
	完成工事高	196,000
44,000	材料費	
37,000	労務費	
41,000	外注費	
25,000	経費	
28,000	給料	
6,000	通信費	
10,000	旅費交通費	
25,000	支払家賃	
4,000	支払利息	
1,728,000		1,728,000

<資料2> 平成×年1月21日から31日までの取引

- 21日 工事現場の水道代¥36,000を現金で支払った。
- ” 受注した工事が完成したので発注者に引き渡し、工事代金¥400,000は現金で受け取った。
- 24日 借入金の利息¥6,000を小切手を振り出して支払った。
- ” 本社の当月分電話代¥25,000が当座預金から引き落とされた。
- 26日 本社事務員の当月分給料¥145,000を現金で支払った。
- 27日 現場作業員の当月分賃金¥155,000を現金で支払った。
- 28日 本社事務所の当月分家賃¥50,000が当座預金から引き落とされた。

【第4問】 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。 (26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。

〔第 1 問〕

No.	借 方			貸 方		
	記号	勘定科目	金 額	記号	勘定科目	金 額
(1)	A	現 金	500,000	E	資本金	500,000
(2)	F	事務用消耗品費	15,000	A	現 金	15,000
(3)	L	材料費	100,000	B	当座預金	100,000
(4)	Q	経 費	20,000	A	現 金	20,000
(5)	B	当座預金	200,000	J	完成工事高	200,000
(6)	G	借入金	23,000	B	当座預金	25,000
	k	支払利息	2,000			

〔第 2 問〕

問 1

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ウ	オ	セ	ソ	ク	ス	タ	チ	サ	ト

問 2

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
D	B	E	A	F	A	F	D	A	C

〔第 3 問〕

合計残高試算表

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
178,000	656,000	現 金	478,000	
164,000	750,000	当 座 預 金	586,000	
82,000	82,000	備 品		
190,000	190,000	土 地		
	230,000	借 入 金	405,000	175,000
		資 本 金	480,000	480,000
		完 成 工 事 高	596,000	596,000
44,000	44,000	材 料 費		
192,000	192,000	労 務 費		
41,000	41,000	外 注 費		
61,000	61,000	経 費		
173,000	173,000	給 料		
31,000	31,000	通 信 費		
10,000	10,000	旅 費 交 通 費		
75,000	75,000	支 払 家 賃		
10,000	10,000	支 払 利 息		
1,251,000	2,545,000		2,545,000	1,251,000

〔第 4 問〕

精 算 表

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	62,000						62,000	
当座預金	112,000						112,000	
備品	110,000						110,000	
建物	165,000						165,000	
借入金		120,000						120,000
資本金		300,000						300,000
完成工事高		757,000				757,000		
雑収入		6,000				6,000		
材料費	180,000			180,000				
労務費	142,000			142,000				
外注費	95,000			95,000				
経費	65,000			65,000				
給料	102,000				102,000			
旅費交通費	74,000				74,000			
支払地代	53,000				53,000			
支払利息	15,000				15,000			
雑費	8,000				8,000			
	1,183,000	1,183,000						
完成工事原価			482,000		482,000			
			482,000	482,000	734,000	763,000	449,000	420,000
当期(純利益)					29,000			29,000
					763,000	763,000	449,000	449,000